

2023年12月1日

サウジアラビア保健省副大臣が来日、日本の医療・研究機関など訪問（報告）

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センターは、本年7月の岸田総理大臣のサウジアラビア訪問の際に厚生労働省と経済産業省、サウジアラビア保健省の合意に基づき立ち上がった医療・保健分野ワーキンググループの活動への支援・協力のため、要人招聘事業として、11月13日（月）～17日（金）、サウジアラビア保健省の副大臣一行9名を招きました。

来日メンバー9名は、アブドルアジーズ・アル＝ルメイ副大臣（企画開発担当）およびeヘルス・DX担当次官、サウジ国立保健研究所所長、「サウジビジョン2030」保健分野変革プログラム（HSTP）担当官、健康支援センター理事長など、いずれも同国の医療・保健行政およびサウジビジョン2030推進に携わる責任者です。

一行は、厚生労働省大島事務次官、国立がん研究センター中央病院・がんゲノム情報管理センター・国立保健医療科学院、日本医療研究開発機構、国立国際医療研究センター、国立感染症研究所、バイオインダストリー協会、産業技術総合研究所人工知能研究センター、がん研究会有明病院、東京大学医科学研究所バイオバンクジャパン、国立成育医療研究センターといった11の機関、ユニークな技術やソリューションでサウジアラビアの医療・健康分野への進出に関心のある大手企業やスタートアップ企業7社、および弊センターを訪問等し、面談や意見交換、施設の視察等を行いました。

「サウジビジョン2030」で、医療・健康分野については、国民の健康増進・寿命延伸が主要目標と設定される中、国民の肥満・糖尿や生活習慣病に悩むサウジアラビアは、世界有数の長寿国である日本に注目しています。今回の厚労省事務次官との会談や各機関・企業との面談においても、日本の得意とするゲノム診療・画像診断・精密手術など最先端の医療技術・機器・システムに加え、予防医療や国民の定期健康診断の普及の重要性を認識し、そうした観点から活発に質疑がなされました。

いくつかの機関とは協力協定などを結んで連携強化を図りたいとの意向も示され、日程最終日の総評では、副大臣はじめメンバーから、有意義な成果や人的交流の機会を得られたことに深い謝意も表されました。

以上



厚生労働省大島事務次官とアル＝ルメイ副大臣（11月14日）



日本医療研究開発機構（AMED）三島理事長とアル＝ルメイ副大臣一行（11月14日）